

# 【TGL プログラム】 報告書作成ガイドライン

## グローバルリーダー認定報告書作成ガイドライン

以下 1、2 について、自己の成長を分析し、深い考察をもって振り返り、まとめられていること。

### 1. TGL プログラムで定義する「3+1」

- TGL プログラムで定義する「3+1」(語学力・コミュニケーション能力、国際教養力、行動力、海外研鑽)の全てについての学びが記載されている。
- 学びが自分の言葉で具体的な事例を示しながら書かれている。  
例: 異文化を理解することの重要性を学んだ  
→ どのような場面でどのような経験をしたかという異文化の重要性を理解へと繋がったか具体的な例を挙げて説明している。
- 活動日記のような報告でなく、学びおよび能力の修得(=成果)の視点から報告書がまとめられている。
- 段落、まとめ方等、読み手を意識したわかりやすい構成となっている。

### 2. 専門分野での学び

- 専門分野の学びについて、専門外の人にもわかりやすい言葉で表現できている。
- 卒業後、グローバルな社会における自身の目標(将来の目標)をしっかりと提示している。
- (上記で提示した)将来の目標に向かうために、今まで自身の所属学部で修得してきたスキルや専門知識をどのように活かしていくか具体的に述べている。
- 将来の目標に向かうために、今まで TGL プログラムで修得してきた「3+1」(語学力・コミュニケーション能力、国際教養力、行動力、海外研鑽)の経験をどのように活かしていくか具体的に述べている。

## TGL プログラム修了報告書作成ガイドライン

### 1. TGL プログラムで定義する「3+1」

- TGL プログラムで定義する「3+1」(語学力・コミュニケーション能力、国際教養力、行動力、海外研鑽)の全てについての学びが記載されている。
- 学びが自分の言葉で具体的な事例を示しながら書かれている。  
例: 異文化を理解することの重要性を学んだ  
→ どのような場面でどのような経験をしたかという異文化の重要性を理解へと繋がったか具体的な例を挙げて説明している。
- 活動日記のような報告でなく、学びおよび能力の修得(=成果)の視点から報告書がまとめられている。
- 段落、まとめ方等、読み手を意識したわかりやすい構成となっている。